

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟アートフォーラム」東京都知事からのメッセージ

皆様、こんにちは。東京都知事の小池百合子でございます。

この度は、残念ながら、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟アートフォーラム」への出席ができませんので、メッセージを寄せさせていただきます。

最初に、このアートフォーラムを開催し、東京2020大会を全国から後押しいただいている、鳥取県をはじめ各道府県、関係機関の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。

さて、先月には、オリンピック半年前を記念するセレモニーが東京のお台場で実施されるなど、いよいよ東京2020大会が目前に迫ってまいりました。オリンピックまで今日で167日、パラリンピックまで199日です。日に日に祝祭感が高まっているのを感じています。

オリンピック・パラリンピックはスポーツだけでなく文化の祭典でもあります。現在、東京都は、大会を文化の面からも盛り上げるため、誰もが楽しみ、参加できる多彩な文化プログラムを展開しているところです。

また、私は、この大会を契機として、障がいのある人もない人も、誰もがいきいきと暮らし、活躍できる「ダイバーシティ」を実現していきたいと考えています。そのため、ハード・ソフト両面でのバリアフリーなど、様々な施策に取り組んでいます。

このアートフォーラムは、障がい者アートを推進する素晴らしい機会であり、「ダイバーシティ」実現への更なる一歩となると確信しています。是非とも、このフォーラムを東京2020大会のレガシーとし、全国の自治体が手を携え、すべての人が輝く国を皆様とともに創り上げてまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

東京都知事 小池百合子